

花王のアプローチ

花王は、環境への取り組みを効率的かつ効果的に推進するために、環境保全活動にかかる費用とその効果を数値化しています。

2017年の環境会計報告

- ① 環境省「環境会計ガイドライン2005年版」に準拠しています。また、一般社団法人日本化学工業協会「化学企業のための環境会計ガイドライン(2003年11月)」も参考にしています。
- ② 集計範囲は、花王(株)、日本のグループ会社および海外の生産拠点を有するグループ会社です。
- ③ 環境保全効果(物量効果)については、「製品ライフサイクルと環境負荷」をご覧ください。



→ P71「エコロジー>製品ライフサイクルと環境負荷」

環境保全コスト(事業活動に応じた分類)

(単位:百万円)

分類	主な取り組み内容	日本		海外	
		投資額	費用額*	投資額	費用額*
(1)事業エリア内コスト		1,493	3,844	1,362	3,407
内訳	①公害防止	264	1,442	635	1,277
	②地球環境保全	880	582	296	743
	③資源循環	349	1,820	431	1,387
(2)上・下流コスト	環境対応製品生産設備、容器包装リサイクル	579	2,618	0	77
(3)管理活動コスト	EMS取得・維持、環境広報、事業場内緑化	4	2,031	0	261
(4)研究開発コスト	環境対応研究開発	2,402	4,399	1	113
(5)社会活動コスト	事業場外自然保護・緑化、支援金	7	134	14	11
(6)環境損傷コスト		0	0	0	11
合計		4,485	13,026	1,377	3,880

環境保全コスト(環境保全対策分野に応じた分類)

(単位:百万円)

分類	主な取り組み内容	日本		海外	
		投資額	費用額*	投資額	費用額*
①地球温暖化対策に関するコスト	省エネルギー	880	582	236	357
②オゾン層保護対策に関するコスト	代替フロンへの切り替え	0	0	58	366
③大気環境保全に関するコスト	大気汚染防止、粉塵防止、悪臭防止	13	457	149	470
④騒音・振動対策に関するコスト	騒音防止	0	4	15	42
⑤水環境・土壌環境・地盤環境保全に関するコスト	水質汚濁防止	251	981	472	755
⑥廃棄物・リサイクル対策に関するコスト	省資源、産業廃棄物の減容化、リサイクル	928	4,438	431	1,460
⑦化学物質対策に関するコスト	製品・製造開発研究	2,402	4,399	1	112
⑧自然環境保全に関するコスト	事業場外自然保護・緑化、支援金	7	133	15	77
⑨その他コスト	EMS取得・維持、環境広報、事業場内緑化	4	2,032	0	241
合計		4,485	13,026	1,377	3,880

※費用額には減価償却費を含んでいます。

環境保全対策に伴う経済効果^{※1}

(単位:百万円)

効果の内容		日本	海外
		金額	金額
収益	有価物、固定資産の売却金額	539	231
費用節減 ^{※2}	省エネルギーによる費用節減金額	143	98
	省資源による費用節減金額	873	1,432
	経費節減金額(環境対策設備の保守費用等)	57	646
合計		1,612	2,407

※1 経済効果は有価物および固定資産の売却金額と費用節減金額を計上し、リスク回避等の仮定に基づく経済効果、いわゆる「みなし効果」は計上していません。

※2 費用節減金額は、当該年度に発生した項目の1年間の節減額を当該年度のみ計上し、複数年度にわたって計上はしていません。